

私達の北海道白老東高等学校は、今年で 30 周年を迎えることができました。私達はこの記念すべき節目の時期に、白東生として学校生活を送ることができて幸せに思います。そして、この白東で有意義な学校生活を送れるのも、たくさんの人達に支えられての事だと感じ、とてもありがたく思います。

私は、約 2 年間白老東高校に通っています。1 年生の時期は、無我夢中で学校生活を送っていました。先輩方の活動力に圧倒されるばかりで、誰がどのように行動しているのか、感じ取ることができませんでした。2 年生になって、自分の心に少し余裕が出たのか、たくさん気づくことがあり、少しずつですが自分から行動できる私になってきました。

私は、平成 28 年度後期生徒会長になって間もないですが、歴代の会長はじめとする執行部の先輩方が、今まで築いていただいたことをもとに、ここにいる在校生の皆さんと共に、さらにより学校に創り上げていこうと思っています。

学校生活の中で、勉強することも大切ですが、一番の楽しみにしているのは学校行事です。その中でも、生徒が中心の「生徒会行事」。

「白東祭」では、学年の枠を超えてみんなで踊る白東ダンス。クラスの協力のもと創り上げた山車、衣装、クラスパフォーマンス、そして垂れ幕。

「スポーツフェスティバル」では、後輩に、同級生に、そして先輩に負けたくないと思死に戦った様々な競技。

「アイスホッケー大会」では、学年での優勝を目指し、リンクでチーム一丸となってパックを追いかけて、ゴールを目指した仲間との姿がありました。

私達は、学年が上がる毎に「負けたくない」という気持ちとともに、クラスのみならず時間を一緒に過ごしたいという気持ちが高まっていき、団結力・絆が強くなり、真剣に取り組む度合いも上がっていくを感じています。

今、私は、全力で真剣に挑む白東生のメンバーの中にいます。学年の枠を超えて協力や応援をすることができる白東生のメンバーの中にいます。

様々な学校生活を通して、普段は関わりの少ない同級生や先輩・後輩との交流、そして先生方、保護者・地域の方々からたくさんのご支援をいただき、私達白東生は少しずつですが、成長させていただいていることに感謝しています。

最後になりますが、これから 40 年、50 年、100 年以上続く白東の歴史の中に私達がいたことに感謝いたします。私達は、高校生活の中での失敗は誰もがしますが、その失敗を恐れず、力にして前進できる生徒会執行部をこれからも作り続けていきます。そして在校生一同、これからも白老東高校の良いところを伸ばしていきますので、皆様のご支援をお願いいたします。

平成二十八年十月二十九日

北海道東高等学校 生徒会長 佐藤 花耶